

作品をつくる

左ページのように、実習の最後にカードなどの成果物を作成することがよくあります。これは、参加者の実習への満足度を上げる以外に、成果物を持ち帰ってもらうことで、あとでふり返りができる効果があります。

各地の団体が創意工夫を凝らしており、作品の形式は多岐にわたります。ここでは、そのうちカード形式（台紙貼りつけタイプ）と工作形式の2つをご紹介します。

● カード形式

紙のカードにチリメンモンスターを貼りつけるもので、そのデザインは参加者の年齢層や実施形式を考慮して使い分けられます。よく使われるのは、台紙にチリメンモンスターを貼りつけ、種類を書き込むタイプです。この場合、ちりめんじゃこが採集された時期と場所を可能な限り記入しておく方がよいでしょう。

それ以外にも、参加者の対象年齢が低い場合は、見つけたチリメンモンスターを「魚の仲間」、「エビ・カニの仲間」、

「タコ・イカ・貝の仲間」、「その他」といった大まかなグループ分けで貼りつけて名前を書かないタイプや、台紙に絵を描いたり、塗り絵をしたりしてから、その上にチリメンモンスターを貼りつけるタイプを使うこともあります。

*カード形式のテンプレートはきしわだ自然資料館のホームページ (<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>)、あるいはチリモン図鑑 (<http://www.chirimon.jp/>) から無料ダウンロードできます。

作成例

イラストをそえてチリメンモンスターを貼りつけたり、親と子を並べて比較したりと創意工夫が感じられます。



荒木庸輔氏・作成



作品をつくる

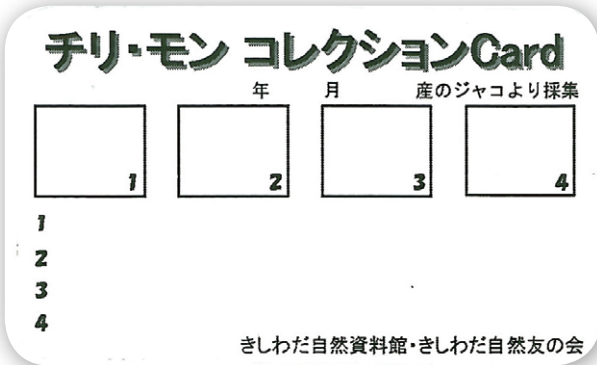
● いろいろなカードのサンプル

①



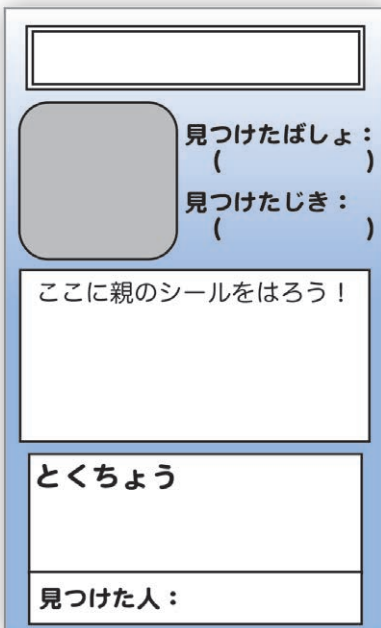
水槽をイメージしたカード。チリモンを貼りつけるだけでなく、自由に絵を描くことができます。はがきサイズ（忠岡町文化会館・作成）

③

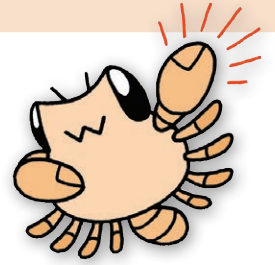


好きなチリモンを4つ枠内に貼りつけ、その下に名前を書きます。名刺サイズ（きしわだ自然資料館、きしわだ自然友の会・作成）

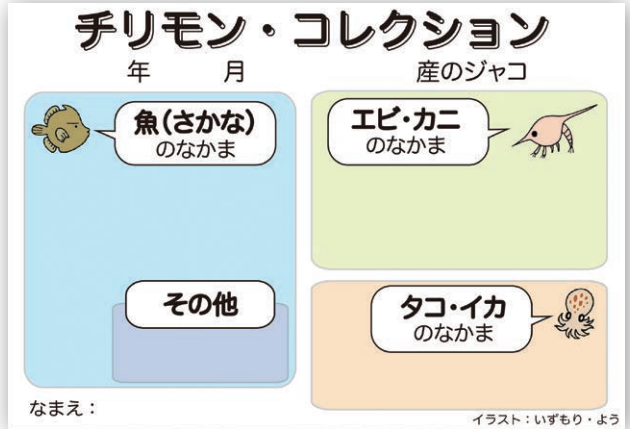
⑤



見つけたチリモンの親のシールを貼りつけることで、親子合わせの要素も盛り込んでいます。特徴を記すスペースもあり、調べ学習にも使うことができます（きしわだ自然友の会・作成）

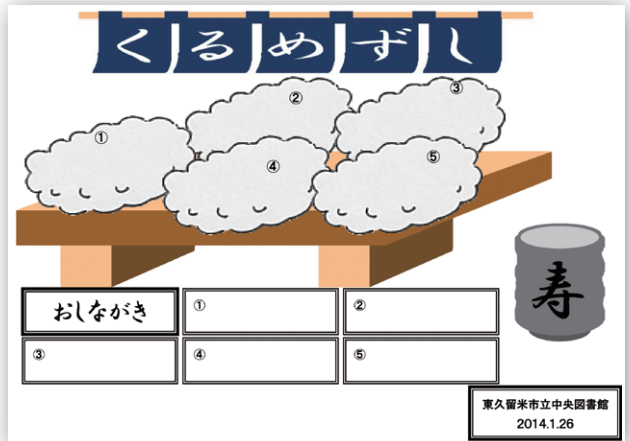


②



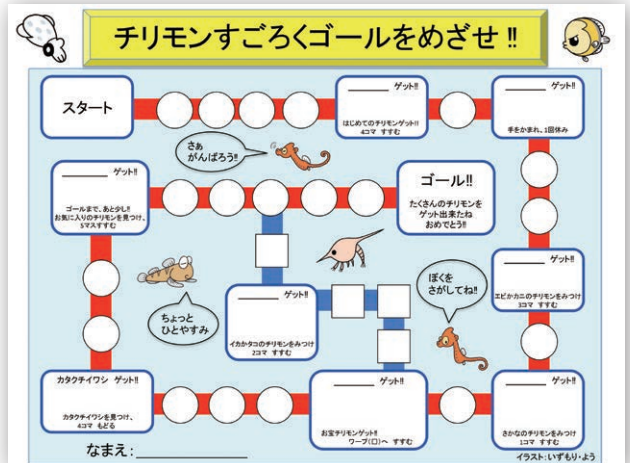
グループ分けタイプ。はがきサイズ（きしわだ自然資料館・作成）

④



寿司屋をイメージしたカード。しゃりの上にチリモンを貼りつけ、おしながきに名前を書き込めます。ハガキサイズ（東久留米市立中央図書館・作成）

⑥



すごろくにアレンジしたカード。A4 サイズ（鈴子佐幸氏・作成）

● 工作形式

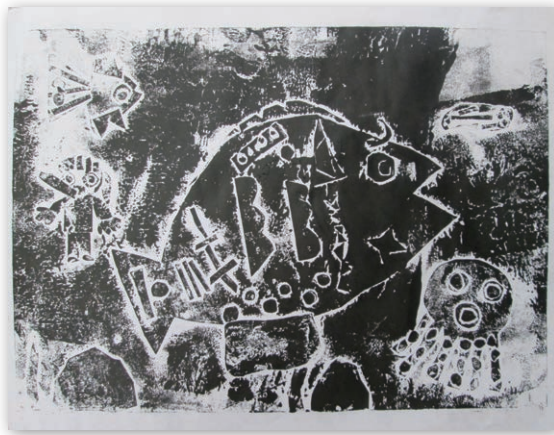
チリメンモンスターそのものを材料として使用する樹脂封入標本などの作成方法があるほか、貼り絵やハンコづくりなど、チリメンモンスターに登場する生き物をモデルとして利用するものもあり、実施方法はさまざまです。工作形式の場合は、作成に時間がかかるものが多く、主にセミ

ナー形式の実習でよく実施されています。

以下は学校や博物館等の実習で作成されたチリメンモンスターをモデルとした成果物の一例です。また、18～22ページでは、チリメンモンスターそのものを材料とした封入標本とチリモンハンコの作成方法をご紹介します。

作成例

チリメンモンスターをモデルとした作品。



紙版画（和泉市立芦部小学校児童・作成）



新聞紙で作成した
タツノオトシゴ
（吉水奈菜氏・作成）



貼り絵（河島明子氏・提供）

ゾエア幼生の切り折り絵
（井上信一氏・作成）



ビーズでつくった
ゾエア幼生
（鈴子佐幸氏・作成）



牛乳パックでつくるチリモン・
キューブ（畑中義治氏・作成）



チリモン消しゴム